

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105040
法人名	有限会社 四葉
事業所名	グループホーム四ッ葉
所在地	松山市桜ヶ丘643-2
自己評価作成日	平成25年6月30日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>毎朝、朝礼時には理念カードを読み理念に基づいたケアに努めている。 四ッ葉体操を利用者様と一緒に作り取り組んでいる。 畑には季節の野菜があり、収穫し料理をして美味しく味わいながら食べている。 外出、誕生日、行事には家族様の参加を呼び掛けている、家族様との共有時間が出来る支援に努めている。 天気の良い日は、外へ出て散歩又部屋の中でも日光浴が出来るように支援している。</p>
---

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員の「利用者と一緒に花火をしたい」という思いがきっかけとなり、今年の夏、初めて「納涼祭」を開催された。たこ焼きやかき氷等のバザー等を企画し、地域の方達にも案内して一緒に楽しめた。</li> <li>● 調査訪問時、利用者と職員と一緒にラジオ体操をされており、立って体操される利用者も数名みられた。毎朝の目課になっているようだ。居間や廊下の壁には、行事等の写真や利用者個々の習字の作品を飾っておられる。又、地域の秋祭りのポスターを貼っておられ、利用者はお祭りがくるのを楽しみにされていた。</li> <li>● 毎日散歩できるよう支援されている。夏の暑い時期は、朝散歩に出かけておられる。10月からは、お昼前が散歩の時間となるようだ。近くの眼鏡店に立ち寄って、メガネを洗ってもらうこともある。6月は、釣り堀に出かけて魚釣りを楽しまれ、9月初旬には、ユニット毎に、お弁当を持って内子にぶどう狩りに出かけられた。</li> </ul>
--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年9月25日

## V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input checked="" type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input checked="" type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

事業所名 グループホーム四ッ葉

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 竹内 智子

評価完了日 25 年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念カードを携帯している。 毎朝、朝礼時で読み上げ、理念に元つき支援が出来るように確認意識して、支援できるようにつとめている。また、外来の方から理念を理解していただけるよう、詰め所入口に掲示している。	
			(外部評価) 開設以来、「健康・愛情・幸福・希望」という四葉のクローバーの花言葉を理念に掲げ、取り組みをすすめておられる。又、利用者・ご家族・職員の、「安全・安心・安らぎ」を運営方針に挙げて、理念の実践に向けて取り組まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近所のスーパーやコンビニでは、おやつ、弁当の購入をしている。散歩では、近隣の方とすれ違う際、挨拶に努めている。又、薬局では利用者様の化粧水等、散歩時に購入している。もう少し、外食(しんせんや)が出来たらよいと思う。	
			(外部評価) 職員の「利用者と一緒に花火をしたい」という思いがきっかけとなり、昨年夏、初めて「納涼祭」を開催された。たこ焼きやかき氷等のバザー等を企画し、地域の方達にも案内して一緒に楽しまれた。地域の夏祭りには、4名の利用者が参加されて、盆踊りの輪に交じり、地域の方達と一緒に楽しまれた。前回の外部評価実施後、公民館で行われている地域サロンに参加して、地域との交流を深められるよう取り組まれたが、公民館のトイレの設備上、参加できる利用者が限られたようだ。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、議題を決め、利用者様の様子や、生活、支援について発表しており、意見も頂いている。家族様には、事前に予定表をお渡しし、内容の話をさせて頂いている。参加人数が少ない為、時間も工夫をしているが、難しいのが現状である。もっと、他の施設や近隣の方にも参加して頂き、交流を深められるようになれば良いと思う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 毎回、テーマを決め、各階1名づつテーマについて話し合い取組み発表している。1.2階利用者様、職員合同でおやつを召し上がりながらの会議を行った時もあり、プロジェクターを使用していた為、参加者や利用者様より、色々な行事が思い出されながら見れて、良かったと言う意見も頂いた。家族様の出席が少ない為、今後参加の声掛けももう少し出来るようになってほしいと思う。	
			(外部評価) 会議を通じて、「ホームの中を知ってもらったり、興味を持ってもらいたい」という思いから、毎回スライドショーで、利用者の日常や外出時の様子等を見ていただけるよう取組まれている。ご家族からは、「思っていたより、いろいろな所へ連れて行って頂けていることがわかりました」等の感想やお礼の言葉もあったようだ。会議に参加して下さるご家族が固定化されがちなため、案内を口頭から案内文を配布するよう取組まれたが、参加者を増やすことにはつながりにくかったようだ。	管理者は、地域からの参加者を広く呼びかけたいと考えておられる。又、以前、ご家族に会議日時についてアンケートを実施した際、土・日曜日の開催の希望が多かったことを受けて、日程等も検討したいと考えておられた。今後もいろいろな方が会議に参加しやすい工夫を重ねられ、事業所のことを多くの方知ってもらえるよう取組まれてほしい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 包括支援センターの方には、運営推進会議、納涼祭、クリスマス会等の行事に参加して頂き、又包括支援センター主催の研修に参加している職員もおり協力関係が築けている為、今後も色々な意見も頂きながら、良い支援に繋げていきたい。	
			(外部評価) 運営推進会議時に、市の担当者の方が感染症対策等について話して下さったり、地域包括支援センターの担当者の方は、昨年行った納涼祭にも参加して下さり、利用者とは交流し、行事の様子を見て下さった。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会で拘束について話し合いをしている。夜間転倒の可能性がある方は、家族様の了承を頂き、ベット柵、鈴、離床センサー、靴に鈴を付け、対応している。季節の変わり目で離設の可能性があるのである方がいる。必要時には、リビングの窓の施錠させて頂いている。ベットでの対応が難しい方は、家族様の了承を頂き、畳で対応している。言葉の拘束も気を付けている。	
			(外部評価) 玄関は、広い造りで自由に出入りできる環境が作られており、各ユニットの出入り口の扉を開けると鈴が鳴り、人の出入りがわかるようになっている。以前、転倒したことのある利用者のご家族の中には、身体拘束することを強く望まれるようなご家族もいるようだ。事業所では身体拘束することの弊害等も十分説明したうえで、現在、安全ベルトやベッド柵を使用されている。介護計画には、ベルトを外し、トイレに行ったり散歩する機会を作ることを盛り込み支援されていた。	事業所は、身体拘束をしないケアを目指しておられる。今後も、ご家族が不安に思われていること等もお聞きしながら、代替え策についての話し合いを重ねられ、利用者の自由な暮らしの確保やご家族の安心に向けて取り組まれてほしい。

### 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会で話し合いをしている。入浴時などの皮膚の観察に努め、変化があれば、報告し記録に残すようにしている。又、家族様にも報告している。声掛けの大きさ、トーンに気を付け精神面への虐待の予防につとめている。職員間で、気づいたら注意し合える環境にしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ミーティングや研修で勉強を行っている。勉強した内容は、各自振り返りを行っているが、難しく理解出来ていないと思う。現在活用されている方は、おられないが理解できるように学んでいきたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長、管理者、必ず2名で契約の対応を行っている。不安のないよう、十分時間を取り説明をして理解して頂いている。入居後も不安や質問があれば話している。職員は十分契約書の内容を理解出来ているとは言えない為、家族様から質問された場合、確実に説明出来るように、契約書の内容の把握に努めたい。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族様の面会時、ケアプラン説明時など家族様と関わる時は、普段より、何時でも要望や意見を言って頂けるようにコミュニケーションを大切にしている。今後、職員全員が、利用者様の家族様とのコミュニケーションを図れるように努め、又面会が少ない家族様には、コミュニケーションを密に図り、面会を促していけるようにしたい。意見箱は設置しているが活用されていない為、行事の際にアンケートを配布し意見を頂き反映に努めている。 (外部評価) ご家族の来訪時には、利用者ご本人の日常の様子等について報告されている。ご家族には、ユニット毎に外出や行事の写真等を載せた便りを送付されているが、ご家族から、「小さくて見づらい」との意見があり、次回より、大きいサイズの用紙で便りを作成する予定となっていた。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>職員同士、気がついた事は申し送りノートへ記載したり社長や管理者へ提案し、報告相談している。ミーティング時には、提案や意見を出し合っている。今後も、職員同士が統一したケアが出来るように、分からない事はお互いに話し合える、聞き合える環境作りをしたいと思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員が気づいたことを書く、「自由なことを書くノート」を作っておられ、個々に、提案や意見等を書くようになってい。朝礼については、利用者から見えない場所で行っておられたが、職員からの意見で、早出勤務の職員は利用者を見守ることに決められた。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>管理者は、職員の様子観察に努め、施設長に報告し、個々に対応、している。契約の更新は施設長より、説明して頂いている。希望休は、出来る限り休めれるようになっており、体調不良で休む時も職員同士で協力出来ている。個別面談を行って頂き、良い環境支援に繋げれるようにしたいと思う。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>個々に合った研修に参加する事が出来ており、ミーティング時に研修内容を発表し、他の職員に共有出来ており、良かった事は、ケアに取り組みたいと思う。同じ職員だけにならないように各自が意識を持ち、積極的に研修に参加できるようになればよいと思う。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>他施設より、運営推進会議や研修の招待をして頂く機会があり、情報や意見を聞くことにより、支援に繋げている。運営推進会議で参加して頂いた方からの意見交換も出来ている。近隣の施設の行事参加は出来ていない為、交流を図る為にも、時間の工夫をしながら、参加が出来るようにしたいと思う。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>入居前、入居後もアセスメントを十分に行い、入居後は出来るだけ多くかかわりを持ち、情報収集に努め、細かく記録に残し、統一した支援を職員間で出来るようにしている。又、利用者様の困っている事は、家族様に報告し、安心した生活を支援できるように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前のアセスメントを十分に行い、家族様の要望や意見は職員が周知し、出来る事、出来ない事支援については、きちんと説明し家族様に理解して頂けるように努めている。又、ケアプランにも取り入れ職員間で統一した支援が出来るように繋げている。利用者様、家族様とは、普段からコミュニケーションを密に取り、信頼関係を築けるように努めている。面会時には、日常の生活の様子を報告している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前の情報を把握し、利用者様、家族様の要望を伺い必要な支援を職員間で話し合い、利用者様が不安や無理にならないように統一したケアができるように努めている。又、料金が発生するサービスを利用する場合は、事前に家族様に説明、了承をして頂いている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様の体調等、様子観察をし、その時その人に合ったお手伝いをして頂いている。一緒に同じ事をする事で利用者様同士、職員ともコミュニケーション取れ、笑顔が増えてきている。利用者様同士のトラブルにも配慮していき、今後も生活の中で、個々にあった役割を見つけ出し、活躍出来る環境作りに努めたい。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 状態の変化時は、家族様に連絡をしている。又、季節の変わり目で不穏状態になられる方は、事前に家族様に了承を頂き、本人様と電話連絡が出来るようにして不安を軽減出来るように支援している。面会時には、現状の、良い事も悪い事も報告し理解して頂き、信頼関係を努めている。又、行事予定を事前にお渡しする事で、家族様と過ごす時間も増え、参加も増えてきている為、声掛けは継続して行いたい。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前入居されていた方には、電話、手紙が届いていたが、現在はなくなっている。家族以外の訪問者が、来所された時には、居室でゆっくり話が出来るようにしている。親戚の方が地域の行事に連れて行って下さる事もある。リビングで過ごされている時は、職員、及び他の利用者様が良い距離感を保てるように配慮していきたい。 (外部評価) 初詣は、利用者の地元でもある事業所の近くの神社にお参りに出かけておられる。ご家族の来訪時には、職員は、お茶やおやつを用意して居室でゆっくりとお話ができるよう、声をかけておられる。遠方に住むご家族の来訪時には、一緒に食事できるよう用意されたり、又、一緒に写真を撮って、その後も写真を見ながらお話し等して、関係を継続できるよう支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクリエーションやリビングで作業出来る環境作りを増やしている。レクリエーションをすると、利用者様の笑顔が増え、表情も生き生きしている為、今後も色々レクリエーションを行いたい。時には、利用者様同士のトラブル、ストレスの訴えも見られる為、席替えをして気分転換に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居先、入院先への情報提供は出来ている。退居された方の家族様が時々来られ、「やっぱり、ここがよかった」と嬉しいお言葉も頂けた。機会を見つけ、退居先にも面会にいきたい。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ケアプラン作成時は、必ず本人様の要望を伺い、出来る限り要望に答えられるように努めている。出来ない事は、その都度納得して頂けるように説明している。要望を言われたい方は、職員間で話し合い、その方に必要な支援を考え、利用者様本位の支援プランになるように努めている。環境整備にも努め、ゆとりのある支援が出来るように努めたい。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に洗濯たたみ等しながら、言葉を引き出したり気持ちをくみ取れるよう取り組まれている。職員は、今後、利用者が昔遊んだお手玉を使ったレクリエーションを行ったり、編み物、縫い物をされていた方には、手芸を採り入れ支援したいと考えておられた。	日々利用者とのかかわりの中で得た情報の蓄積に工夫して、利用者一人ひとりが、その人らしい暮らしを続けるための支援につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に十分なアセスメントを行っており、職員は把握に努めている。施設で出来る事、出来ない事を十分に理解納得して安心して生活出来るように努めている。家族様からの情報収集も支援に生かしている。居室内も出来る限り今までの生活環境と変わらないように、快適に生活出来るように支援していきたい。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 最近では、ADLの低下が見られ、今まで出来ていた事が出来なくなってきた方が多くなっている為、不安なく生活出来るように支援に努めたい。毎日バイタル測定し、精神面、身体面にも把握に努め変化があれば記録に残して職員間で周知し、様子観察をしたり、支援について話しあっている。体調面では、Drに報告している。季節の変わり目は、特に注意を図るように努めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプラン更新1か月前には、本人様、家族様に要望を伺っている。ミーティング時には、職員間でその方の問題点について優先順位を決めて話し合い、作成している。1か月に1度のモニタリングを行っている。ケアプランに沿った記録にも努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎月、利用者個々の担当職員とケアマネジャーが相談してモニタリングを行い、3ヶ月毎の介護計画の見直しにつなげておられる。利用者のできることを続けられるよう、洗濯物たたみや食器拭き等を計画に採り入れるようにされている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプランに沿った支援が出来るように職員は把握に努め、日誌ファイルにケアプランを入れ、見て記録が出来るように努めている。記録が分かるようにケアプランの番号を記入しているが出来ていない時もある為気を付けたい。職員全員が意識して、利用者様の様子が分かるような記録に心がけている。変化時は、職員、ケアマネと相談し、見直しを行っているが個別支援マニュアルの見直しも即座に行いたいと思う。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>外出、外食の機会を月に1回は出来るように考えている。家族様に外出、行事に参加して頂けるようにコミュニケーションにも努めたい。居室で面会時に一緒におやつを召し上がられる方もおられる。誕生日のお祝いを一緒にし、喜ばれている家族もいる為参加の声掛けにも努めたい。長時間の買い物は出来なくても、近くのコンビニなら、車椅子の利用者様も行ける為、日常生活の刺激に努めたい。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>地域のお店には、散歩時に利用者様と行ったり、行事の時弁当を購入している。ファミリーマートへは、週1回おやつを購入に利用している。化粧品は、必要時、レディ薬局で買い物している。コープは、利用者様と行けてない為、時々利用しようと思う。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>入居契約時に連携の病院については説明している。受診、往診して頂き、急変時には、連絡で指示を頂いたり往診して頂いている。他の病院へ受診される時は、情報提供をして頂いたり、ホームよりも情報提供させて頂いている。結果は、花クリニックへ連絡している。かとう歯科の往診もあり、口腔ケアを受けられた方もいた。花クリニック以外にも整形外科や心療内科に定期的に家族様と受診されている方もおられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>協力医をかかりつけ医とされる方は、2週間に一度の往診がある。通院できる方は、職員が同行して2週間に一度受診をされている。以前からのかかりつけ医を受診される方は、基本のご家族が付き添われる。協力医から、他科への受診を勧められることもあり、緊急の場合は職員が対応されるが、急を要さない場合は、ご家族に説明して付き添いをお願いされる。入院に至った場合は、できるだけ早期に退院できるよう、医療機関やご家族等と話し合っておられる。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>同、法人内に看護師がおり、何時でも連絡が出来、対応して頂けるようになっている。又、月1回のミーティング時に医療面での勉強会もして頂いている。花クリニックの看護師は、往診前に訪問される為、状態を把握して頂きアドバイスもして頂いている。施設内でも安心して点滴が受けられるようになっているが自分で点滴を外されようとされる方もいる為、注意が必要である。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<p>(自己評価)</p> <p>日々のケア内容が分かるように、個別支援マニュアルを提供している。又、面会に努め情報の交換をして、安心して治療して頂けるようにしている。施設長は、日頃より病院へ訪問し病院関係者との関係作りにも努めている。入退院時には、薬の変更もある為、しっかりと把握に努め対応したいと思う。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>医療行為が必要となった場合、ホームでは対応出来ない事、看取りは行わない事は入居時、その都度家族様には説明し、特養の申請を勧めさせて頂いている。職員は、研修やミーティングで看取りの勉強は行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人の方針で、事業所では「看取りは支援しない」ことになっている。重度化して事業所の浴室での入浴が困難になった場合や医療行為が必要になった場合には、事業所で支援することができないため、「入居時から次のことを考えてもらう」よう、ご家族に説明されており、ほとんどの利用者が特養等、他施設へ申込をされている。看取りの支援については、今後、地域やご家族のニーズ等も探りながら、事業所の体制作りについても、取り組みをすすめていかれてはどうか。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ミーティング時に心肺蘇生、AEDの使用方法、緊急時の対応について勉強会している。緊急時の対策マニュアルや事故発生時のマニュアルを作成し職員は把握に努め、勉強した内容は振り返りを行い、普段からイメージトレーニングに努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回、消防訓練を行い、地域の方、家族様にも参加して頂き、ホームの様子や消火器等の使用方法、避難協力をお願いしている。夜間想定訓練をしている。日中も対応が出来るようにイメージトレーニングに努めている。訓練後の反省は、次に繋げられるようにしている。近隣の方にも、多く参加して頂けるように努めたい。 (外部評価) 5月には、消防署の協力を得て濃い煙を使用して、避難訓練を実施された。事業所近くの新聞販売店には、いざという時の協力をお願いされている。事業所建物は、耐震構造のため地震発生時、津波の危険性がある時には、利用者は2階へ避難するようになっており、3日間ほどの防災食やクッキー、水等を備蓄されている。又、新たに、災害別の「防災対策マニュアル」を作成された。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉掛け、声のトーンや目線の高さ、表情に注意してケアしている。排泄の声掛けには周囲に配慮しているが、耳の聞こえにくい方に対しては、大声になってしまう為、気を付けたい。記録物等外部にもれたりしないように注意を払っているが、雑になってしまう事がある為、気を付けたい。パット交換後のパットの持ち歩きにも気を付けたい。 (外部評価) 食事中眠そうにされる利用者には、職員はそっと見守っておられた。しばらくするとご自分から目を開けて食べ始められ、職員は、利用者ご本人のペースで食事ができるよう支援されていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ケアプラン作成前には、必ず本人様へ希望、要望を伺いプランに取り入れている。食事のメニューや水分補給の飲み物やパンの購入、好みの物を選びやすい方法で声掛けし、自己決定を促している。入浴時の服も出来る限り、自分で選んで頂ける様に努めたいと思う。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) レクリエーションは、本人様の希望やペースに合わせており、参加されない方は雰囲気だけでも味わって頂いている。その日の体調を見ながら、ベトナムタイムを取って頂いたり、食事時間を変えたり、又入浴や散歩も本人様の要望を伺いながら支援している。ベランダや窓際で日光浴をされる方もおられる。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出時には、服装にもおしゃれをして頂けるように声掛けをしている。外出時の化粧の声掛けもして頂けるようにしたい。化粧水を使用される方は、洗面所でご自分で整容される。髪も自分でとかれる。男性は、ひげそり等もご自分でされ声掛けしながら、整容している。訪問でカット、毛染め、パーマをして頂いている。長袖の下着を着用した際、袖口まで確認したい。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様に食べたい物を伺い、メニューに取り入れたり、誕生日には、その方の食べたい物をメニューに入れ、ケーキも作りお祝いしている。畑で野菜を作り、新鮮な物を食べて頂いている。個々に合わせて、キザミや水分にトロミをつけたり、食材の濃い物は、色の薄い食器に入れたり、白い物は、濃い色のお皿に入れる工夫をしている。 (外部評価) 週3回、昼・夕食は、決まったメニューの食材が届くようになっており、週4回は、ユニット毎に職員が献立を考えて手作りされている。利用者の希望は、日曜日に採り入れるようになっている。敬老の日は、利用者の希望で赤飯やお刺身等でお祝いされた。調査訪問時には、職員が事業所の畑から採って来られた、なすびとねぎを食事に使用しておられ、食事時、「朝採って来たなすびですよ」と利用者へ伝えておられた。食後は、職員の声かけで、皆でそろって「ごちそうさま」のあいさつをされていた。自分でお膳を下げたり、食器やお盆拭きをされる利用者もみられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食、食事量はチェックしている。必要な方は、水分量もチェック表を作り管理している。刻みや一口大、トロミを付けたり、個々にあった食事携帯で提供している。毎月1回体重測定をし、増減に注意し、必要な方は、月2回測定している。食事量が少ない方は、声掛けしたり、見えにくい方は、食器の位置を時々変えたりしている。脱水には気を付け、水分の声掛けもおこなっている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアをして頂いたり、口をゆすいで頂いたりして清潔を保っている。義歯は外して洗って頂き、汚れが残っている時は、職員が再度洗っている。仕上げ磨きが出来ていない時がある為、出来るように努めたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を見て、個々の排泄パターンの把握に努めている。声掛けや誘導を早目に行い、トイレでの排泄に努めている。職員間で話し合い、統一した自立した支援が出来るように努めている。最近では、ADL低下によりパットの方が増えた為、早目に交換し不快にならないように努めている。	
			(外部評価) 時間を決めてトイレへ誘導して、日中は、できるだけトイレで排泄できるように支援しておられる。布パンツで過ごされる方で、最近間に合わないことが増えた方がおられるが、立ち上がったタイミングで早めにトイレ誘導する等、支援に工夫されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎食後、ヨーグルトを食べたり、食物繊維の多い野菜や水分を多く摂って頂くように努めている。又、散歩や体操をし体を動かして頂いている。根菜は、固いが切り方や調理の工夫をし提供していきたい。排便困難な方、下剤の方にはDrに相談し薬の調整をして頂いている。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 2日に1度入浴して頂いている。希望があれば、続けて入浴して頂く事もある。受診や外出の方は、前日に入浴して頂いている。入浴出来ない方は、清拭やドライシャンプーを使用している。入浴、シャンプーを拒否する方では、声掛けの工夫をして清潔保持に努めている。車椅子の方は、職員と連携を取りながら、2人介助で入浴を行っている。	
			(外部評価) 湯船に浸かってテレビが見れるような設備があり、高校野球がお好きで気になる方も、今夏は入浴しながらテレビ観戦して楽しまれたようだ。車椅子を利用する等、浴槽に浸かることが難しい方は、足湯をしながらシャワー浴する等支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、なるべく離床を促している。ベットタイムをとる工夫をしているが、昼夜逆転にならないように30分程度になるように対応している。夜間不眠気味な利用者様がいたら、Drに相談して薬の調整をして頂いたり、お話をしたり、訴えを聞き安心して頂けるように対応している。	
			(外部評価)	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 何の薬を服用されているか把握し、変更や中止になった時は、Drに理由を伺い、職員全員が把握出来るように記録に残し様子観察に努めている。早出のチェック、食後の錠剤チェックをしている。変更後は、日誌、日報、薬ケースに記載しており、ミスのないように努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 趣味で編み物をされたり、個々に合わせてお手伝いをして頂いている。野菜の収穫をして頂いたりしている。フラワーセラピーは、希望者が参加される。習字は、好評だった為、正月の書初め以外でも取り入れたい。時間を見つけ、無理の無いようにお手伝いもして頂けるように声掛けに努めたい。歌は、大好きな方が多く、季節の歌や民謡を普段から口ずさんでいる方もいる。1.2階合同レクリエーションが出来たらよいと思う。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 月1回は外出や外食に行けるようにしている。外出先も決まってきた為、家族様に伺い参考にしたり、利用者様や職員間で相談したりしている。今後、行った所のない場所へにも出かけ楽しんで頂きたい。声掛けにより家族様の参加が増えてきている為、継続したい。散歩もコースを変え、利用者様の表情の変化をみて、家族様にも様子を伝えられるように努めたい。	
			(外部評価) 毎日散歩できるよう支援されている。夏の暑い時期は、朝散歩に出かけておられる。10月からは、お昼前が散歩の時間となるようだ。近くの眼鏡店に立ち寄って、メガネを洗ってもらうこともある。6月は、釣り堀に出かけて魚釣りを楽しまれ、9月初旬には、ユニット毎に、お弁当を持って内子にぶどう狩りに出かけられた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を自分で持っていられる方は、事前に紛失の恐れがある事も理解して頂き、家族に説明している。利用者様が購入した商品も中みは、賞味期限の物が為、職員は把握し、声掛けに努め、購入後も買ってよかったと思って頂けるような声掛けも工夫したい。化粧品等近くのレディ薬局で購入される方がいる。自分でお金を持っている方は、支払いは自分で頂ける機会を作りたい。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 現在、手紙のやりとりをしている方は居られないが機会があれば促していきたい。職員が家族様に電話連絡する時に、変わってお話しする方もおられる。家族様には前もって電話してよいか伺い、希望時、不穏時等に電話する事で安心して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、廊下には季節のタペストリーを飾ったり、花を飾っている。写真は、楽しみにされている家族様もいる為、定期的に張り替えをしたい。西日予防の為、窓に遮断用シートを張っている。リビングに、温度計、湿度計を設置し空調管理に気を付けている。キッチン内では、音に気を付けている。冬場は、暖房を設置している為、配置に気を付け怪我のないように注意を払いたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、利用者と職員と一緒にラジオ体操をされており、立って体操される利用者も数名みられた。毎朝の日課になっているようだ。居間や廊下の壁には、行事等の写真や利用者個々の習字の作品を飾っておられる。又、地域の秋祭りのポスターを貼っておられ、利用者はお祭りがくるのを楽しみにされていた。午後からは、テレビの前のソファに座り、時代劇を見る利用者がおられた。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テレビ前のソファで過ごされたり、テレビを見たり窓際へ移動され、日光浴をされる方もおられる。リビングでは、本や新聞を見られたり、隣の方とお話しされる方もおられる。利用者様同士トラブルがあった際は、気分転換を図るように努めている。利用者様同士が、もっと活動的になるように努めていきたい。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家族様が、写真や花を持って来られ、飾っている方がおられる。フラワーセラピーで作られた物を飾られたりしている。居室の花の水やり、水替えを忘れがちになる為、きちんとしていきたい。又、居室の棚も整理整頓に努めたいと思う。居室の掲示物より、利用者様とのコミュニケーションが取れる時間を大切にしていきたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>テレビや机、座椅子等を持ち込まれている居室が見られた。ご家族との写真や誕生日に職員が贈ったお祝いの色紙を飾っておられる方もいる。窓から裏山のみかん畑や柿の木等が見える居室もあり、利用者は果実が実るのを楽しみに見ておられるようだ。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>居室入口は暖簾、表札を付けている。手すりは、必要に応じてトイレ等に増やし設置して頂いている。タンスの中身も必要に応じて、分かるように表示させて頂いている。最近では、車椅子の方が増えた為、使用しない時は邪魔にならないように置いている。</p>	